

子ども主体の保育を考える

主催：東京家政大学地域連携推進センター 後援：狭山市保育幼稚園課・入間市保育幼稚園課

Part 1 非認知能力を育む保育実践



主任講師

小櫃 智子

東京家政大学
子ども支援学科教授

講座 1
5/27±
申込締切
5/17※



子どもの遊びと学び

—非認知能力の観点から—

講師 岩立 京子 東京家政大学子ども支援学科教授

講座 2
6/17±
申込締切
6/7※



運動遊びでの非認知能力の強化

～運動遊びは、非認知能力を強化する活動の宝庫～

講師 池森 隆虎 東京家政大学子ども支援学科教授

講座 3
7/1±
申込締切
6/21※



非認知能力を育む遊び

～豊かな感性と創造性を引き出す造形表現～

講師 保坂 遊 東京家政大学子ども支援学科教授

講座 4
7/15±
申込締切
7/5※



学びをつなぐ保幼小の連携・接続

講師 野口 隆子 東京家政大学子ども支援学科教授

- 会場** 東京家政大学狭山校舎
- 時間** 各回10:00～12:10 120分(休憩10分)
- 受講料** 各回《一般》3,000円 《本学学生》1,500円 ※申込受付後、振込用紙を郵送いたします。(別途、事務手数料として300円負担となります。)
- 定員** 各回30名
- 対象** 保育士、幼稚園教諭、保育教諭
- 持ち物** 《共通》筆記用具 飲み物 マスク※グループワーク・発表等実施の際は、マスク(不織布)の着用 《講座2》軽運動のできる服装 《講座3》制作をしますので、汚れても良い服装

Tokyo Kasei塾 2023 受講申込書

※必要事項を記入の上、右記QRコードまたはメール・FAX・郵送にてお申込みください。お電話でのお申込みは受付けておりません。
※メールにてお申込みの場合、メール受信後に当センターより確認の返信をいたします。返信がない場合は、お電話にてお問い合わせください。

応募
フォーム



| | | | | | | |
|------|----|--|-----------|------|--------------------|----|
| ふりがな | | | | 勤務先名 | 所属 | |
| お名前 | 年齢 | | 〈在学生〉 | 学部 | 学科 | 学年 |
| ご住所 | 〒 | | 希望講座名(番号) | 電話番号 | (勤務先または自宅) (携帯) | |



講座 1
5/27±

岩立 京子
いわたて きょうこ

子どもの遊びと学び —非認知能力の観点から—

概要

前半は、国内外で注目されている遊びを重視した保育について、ねらいと内容等について概説した後、遊びを通して生まれるさまざまな学び、特に非認知面の（社会情動的）発達や学びについて事例を示しながら、概説します。後半は、子どもの心が躍動する遊びを生み出す「環境を通した保育・教育」の例を示し、その重要なポイントについて講義します。

Profile

筑波大学大学院心理学研究科博士課程修了（心理学博士）、東京学芸大学名誉教授、東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。東京学芸大学で34年間、東京家政大学で3年間、幼児教育・保育の専門家養成に従事する。平成26年から4年間、東京学芸大学附属幼稚園長、令和3年から2年間、東京家政大学森のおうち副園長を兼任する。著書に『子どものしつけがわかる本』『いい母はいい子をつくれぬい』等多数。雑誌、テレビ等で子育てについて助言している。

講座 2
6/17±

池森 隆虎
いけもり たかたろう

運動遊びでの非認知能力の強化

～運動遊びは、非認知能力を強化する活動の宝庫～

概要

運動遊びは今世間で注目されている「非認知能力」を高める要素がとて多くちりばめられている活動です。“その機会をどう活かしていくか”が今回のテーマとなります。子どもの活動意欲を高めていくにはどうすべきか、表現力や創造性を高める遊びへの環境構成や保育士の向き合い方などを実践を交え、討論形式で内容を深めていきたいと思っています。子どもたちが強く、逞しく、人への優しさや創造力をもって意欲溢れる人生をスタートできるように、ともに考えてみましょう。

※皆さんの園で、非認知能力を意識している活動や園の体制、研修事例などがありましたら、是非ご発表の準備を頂けると議論がしやすいと思います。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。筑波大学大学院体育研究科コーチ学専攻修了（体育学修士）。専門はスポーツ心理学。運動・スポーツ分野以外にも表現環境分野（音響・照明・映像）での造詣が深い。研究課題は子どもの遊びの創造、子どもの遊び場づくり、表現環境の整備、音響・照明・映像を用いた表現演出システムの構築。主な社会活動は狭山市スポーツ推進審議会会長。

講座 3
7/1±

保坂 遊
ほさか ゆう

非認知能力を育む遊び

～豊かな感性と創造性を引き出す造形表現～

概要

子どもは遊びの中で、絵を描いたり、ものを造ったりしながら、様々に感じ、考え、感性・思考力・創造力を培っていきます。こうした表現活動は、その制作過程で試行錯誤し、自分の世界観を見つめ、楽しさや達成感を感じるなど、非認知能力の育成と深く関わっていると言えます。本講義では、子どもが主体的に表現を楽しむ造形活動のポイント、またどのような援助が必要かなど、アートワークを交えながら、保育現場における造形表現活動の質について考えていきます。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。臨床美術士1級、彫刻家。臨床美術学会/日本臨床美術協会理事。大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育・福祉・医療に果たせる役割をテーマを探求している。

講座 4
7/15±

野口 隆子
のぐち たかこ

学びをつなぐ保幼小の連携・接続

概要

世界的にみて、幼児教育から小学校教育の移行（トランジション）は注目されているトピックですが、保育者・小学校教師の子どもの捉え方が一つの鍵となってきます。本講座では、学びにつながる遊びについて、保幼小の連携・接続の概要や「架け橋プログラム」について、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて学び、自治体の取り組みや園・学校の実践事例等の紹介を通して、連携・交流から接続に向けた取り組みを考えたいと思います。

Profile

東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。お茶の水女子大学大学院を経て白梅学園大学子ども学研究科博士課程修了。博士（子ども学）。OMEF日本委員会理事。専門は保育学、発達心理学、著書には「乳幼児の保育・教育」（単著、放送大学教育振興会）、「保育内容言葉」（共編著、光生館）「絵本の魅力 その編集・実践・研究」（共著、フレーベル館）等

交通のご案内

西武池袋線稲荷山公園駅
南口下車 徒歩3分

お車でのご来校はご遠慮ください。
ご協力お願いいたします。



受講について

- ★申込受付後、振込用紙を郵送いたしますので、期日までにコンビニエンスストアでご入金をお願いいたします。
- ※銀行・郵便局でのご入金はできませんのでご注意ください。
- ★当日キャンセルの場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。その他キャンセルによる返金等につきましては、ホームページをご覧ください。
- ★講師の都合によりやむを得ず休講にする場合は、後日補講を実施いたします。また、交通機関の運休・悪天候の場合は休講となることもあります。詳細はお問い合わせください。
- ★個人情報、公開講座以外の目的には使用いたしません。
- ★その他、注意事項など詳細はホームページをご覧ください。